

僕の将来の夢は、陸上競技の実業団に入り、そこで活躍して、人の目標となるような選手になることです。そして、社会貢献ができる、人にやさしく自分に厳しい人になることです。

僕は陸上が好きで、走ることが自分の心の支えになっています。そんな僕が実業団に入りたいと考えているわけは、陸上を見ている方や、陸上に携わっている方々の目標になったり、誰かのあこがれの選手になったりすることがとても素晴らしいことなのだと気がついたからです。僕にはあこがれの選手がいます。その人に近づけるように努力しています。あこがれの人がいるから頑張れるのです。僕もその人のようになりたいと思うようになりました。そして実業団というのは、会社に所属する陸上部のことです。時には社会人として、会社で働きます。つまり、人のため、社会のためにも働き、そして、時には、選手として一生懸命全力を尽くすことができるという自分にとっては夢のように思える立場です。

さて、矢板中学校は昨年、創立70周年を迎えました。その時の記念講演で「夢の実現の為に」という演題で、矢板中学校卒業生の黒崎拓克さんが講演してくださいました。黒崎さんは箱根駅伝で活躍し「実業団」でも活躍していた人です。まさに僕が考える将来の姿です。そんな黒崎さんから「夢の実現」のための具体的な方法をいろいろと教えていただきました。その中でも僕が心に残った方法は「スモールステップ」です。階段を一つ一つ登るように、大きな夢に向かって確実に力を付けていく方法です。立志を迎えている僕たちにとっては、夢を実現する方法を知ることはとても大切なことです。ただ「頑張れ」と言われても何を、どうしていいのかよく分かりません。黒崎さんから具体的な方法を教えてもらい、やる気が湧いてくると同時に、今頑張っていることが間違っていないことを確信しました。

今、僕が夢を実現するために日々努力していることが2つあります。1つは、自分と自分以外との区切りをハッキリとさせていることです。陸上はよく、個人競技だと言われていますが、決してそうではありません。確かに走っているときは、一人です。しかし、そういった勝負の裏には必ず、誰かの支えがあるのです。それは家族であり、チームメイトです。その支えがあるから、自分が精一杯走ることができることを僕は知っています。もし、その支えがなければ、勝負すらできないと僕は思います。自分を支えてくれるすべてに感謝して戦っていく。勝負の裏には多くの人の支えがあることを忘れずにいたいのです。

もう1つは、自分自身を信じ、諦めない心を育てるようにしていることです。勝負の世界には、必ず逆境があります。その逆境と勝負するには、自分自身を信じることができなければ、その逆境を乗り越えることはできません。必ず乗り越えられると、自分を信じるのが大切です。自分も、怪我をし、春季、総体と、2つの大会を連続で棄権してしまうことがありました。しかし、怪我が早く治ることを信じ、信じることを諦めなかった気持ちで、早く怪我を治してくれたのだと思います。これからも、どんな苦悩があっても、信じ続け、夢を諦めずに勝負していきたいです。

しかし、思うことは簡単で、なかなか自分が成長していると感じることができないでいます。例えば、今反省すべきことは、何か意見があったとしてもそれを伝えようとする意思表示があまりできないことです。意見があってもそれを伝えられないのは、社会に出てから、致命傷になりかねません。思っているだけではだれにも伝わりません。では伝えるためにはどうしたらいいのでしょうか。それは自分自身に対する自信だと思います。自分に自信がなければ上手く伝えられません。「自分はできる」と自分を信じることを、陸上だけでなく、日常生活でもできるようにしていきたいです。そのためにも黒崎さんが教えてくれた「スモールステップ」を実践し、自信をつけていきたいです。今、こうして舞台の上に立っていることも自分を成長させるためのチャレンジです。しっかりと自分の意見を伝えられるように意識していけば、社会に出たとき、積極的になっていけると思います。

自分の夢を必ず実現出来るように、自分が体験している「今」を柱と考え、そして過去の様々な体験を糧とし、未来という自分を自分の手で、作り上げていきたいです。立志という大きな節目を迎えた僕たちにとって、それぞれの夢が叶うように、ここからの学校生活で仲間と一緒に学び、成長していきたいです。そしてこの中学校生活を、かけがえのないものとして残るよう、残り1年間の中学校生活を悔いのないように日々邁進していきたいです。